

いごいのみぎわ

天路歷程 ジョン・パニヤン

第8話

2022年1月9日～1月15日 各家庭でのディボーション用テキスト

好意者はその時言った、ああ、お気の毒な人だ。天上の栄光は彼にとっては、余り価値が少なく、それを得るために少しばかりの困難をおかす値打もないと考えるのですかね。

基督者は言った、実際私は柔順者について本当のことを申しましたが、もし自分について本当のことをすっかり言うとしたら、二人の間には何も甲乙はつけられないことが分かりましょう。なるほど彼は自分の家に戻りましたが、私もまた世才氏という人の世俗的な議論に説得されて、脇道にそれて死の道に行ったのですから。

好意者 ああ、あの人にお出会いですか。何と、あの人なら遵法氏の手で楽にしてもらおうよう勧めたでしょう。彼らは二人とも大変なかりですよ。ところであなたは彼の勧めに従ったのですか。

基督者 はい、思いきってやれるところまで。私は遵法氏を探しに出かけましたが、その家のそばに立っている山が頭の上に落ちて来そうな気がしましたので、やむを得ずそこで立ち止まってしまいました。

好意者 あの山は多くの人を死なせたのですが、これからも、もっと多くの人を死なせることでしょうか。あなたがそれで粉々になるのを逃れたとは結構なことです。

基督者 いや、まったく、私かそこでどうなったか分かりません、すっかりふさぎ込んで物思いに沈んでいたとき、はからずも伝道者に再び会うことがなかったら。あの方が再び私のところへ来られたことは神のお恵みでした。でなかったら私かここへ来ることは決してなかったでしょう。しかし今私はここに来ています。こうしてあなた様とお話しして立っているよりも、あの山で死んだ方がふさわしい自分のような者が。ああ、これは何とありがたいことでしょうか、ここに入ることをなおも許されたとは。

好意者 私たちはだれにも異議を申さないのです、ここへ来る前どんなことをしたところで。「決して拒みはしない」【ヨハ6:37】のです。だから基督者さん、少し私についてお出でなさい。そうすれば行くべき道を教えてあげましょう。前の方をごらんください。この狭い道が見えますか。それがあなたの行くべき道です。それは族長たち、預言者たち、キリスト、使徒たちによって築かれたもので、定規でできるだけ真直ぐになっています。これこそあなたの行くべき道です。

基督者 ですが、曲がりくねりはないでしょうか、不案内な者は道に迷うかもしれません。

好意者 ありますよ。この道にぶつかる道が沢山あって、曲がっていて幅が広いのです。だが正道と邪道はこうして区別ができます—正道だけが真直ぐで狭いのです【マタ7:14】。

それから私か夢で見ていると、基督者はさらに尋ねた、背中にある重荷をおろすのを手伝っていただけませんか。彼はまだそれを下ろさずにいたし、手伝っ

てもらわなければ、どうしても下ろすことはできなかったからである。

彼は答えた、あなたの重荷については、救いの場所に来るまでは我慢して背負っておいでなさい。そこへ行けばひとりで背中から落ちますから。

そこで基督者は腰の帯を引きしめて、旅行に出かける身仕度をした。すると相手は彼に語った、門からしばらく行くと解説者の家に着くでしょう。その戸を叩きなさい。そうすればすばらしい物を見せてくれるでしょう。そこで基督者は友に暇乞いをすると、彼はまた道中の平安を祈った。

それから彼は進んで行くと解説者の家に着いたので、何度も戸を叩くと、ついに一人の人が戸口にやって来て、どなたですかと尋ねた。

基督者 これは旅人でございますが、当家のご主人のお知合いがためになるからこちらを訪ねてみよと言われました。それでこちらのご主人とお話したいとうございます。

すると彼はこの家の主人を呼んだ。やがて彼は基督者のところへやって来て、何ご用ですかと尋ねた。

基督者は言った、先生、私は滅亡の都から参った者でシオンの山に行くところでございます。この道の入口にある門のところに立っている方から、もしこちらをお訪ねすれば、旅をするのに助けとなるようなすばらしい物を先生が見せて下さると伺いました。すると解説者が言った、お入りなさい。あなたのためになるものをお見せいたします。そこで彼は下男に命じてろうそくをともしさせ、基督者について来るように言った。かくて彼を秘密の部屋に入らせ、下男に命じて戸を開かせた。そうしたとき基督者はごくおごそかな人物の絵が壁にかかっているのを見た。そのありさまは次のようであった。目を、天に向け、手には最上の書物を持ち、唇には真理の律法が書かれ、背後にはこの世があった。彼は人々を説きつけるかのように立ち、黄金の冠が頭の上にかかっていた。

その時基督者は言った、これはどういう意味でしょうか。

解説者 この絵の人物は千人に一人という優れた方で、子供らを生み【**Ⅰコリ 4：15**】、産みの苦しみをなし、生まれたときには、自分で彼らを養うことができます【**ガラ 4：19**】。彼が目を天に向け、手には最上の書物を持ち、唇には真理の律法が書かれてあるのが見えますが、それは分かりにくい事を知って、これを罪びとに説き明かすのが彼の仕事であることを示すため、ご覧のとおり、彼は人々に説きつけるかのように立っています。またこの世が彼の背後に押しやられて、冠が頭の上にかかっているのが見えますが、それは彼が主への奉仕を愛するために、現在のものを軽んじ卑しめ、来世には必ずその報いとして光栄を得ることを示すためです。さて、と解説者は言った、私か君にまずこの絵をお見せしたのは、この絵の人物こそ君の行こうとしている所の主が、道中で君が出会うすべての困難な場所で君の導き手となる権能を与えられた唯一の方であるからです。そういうわけだから、私が君に示した事によく注意を払って、見た事をよく心に留めておきなさい、旅をしているとき、だれか正しく導くと見せかけるような人に会うといけないから。彼らの道は死に下って行くのです。

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい